



山口市の小中一貫教育

本物の学力を育む小中一貫教育

～コミュニティ・スクールを基盤とした義務教育9年間の連続性のある学びをめざして～

山口市の教育目標

「学び ふれあい 夢・絆・笑顔で未来を紡ぐ 教育のまち 山口」

【基本方針】

- ① 子どもの成長と学びの連続性をふまえた「めざす子ども像」を各中学校区で設定し、市内全小・中学校で一貫教育を推進します。
- ② 学習指導要領に基づき、児童生徒に育みたい資質・能力を重点化した、小中一貫カリキュラム（義務教育9年間の系統的な教育課程）を各中学校区で編成し、教育活動を行います。
- ③ 小・中学校の教職員が義務教育9年間の学びを担うという意識をもち、「本物の学力」を育むための授業づくりの推進を図ります。
- ④ コミュニティ・スクールを基盤として、学校・家庭・地域が協働して諸課題の改善を図りながら、中学校区の特色のある取組を推進します。



子どもたちの
笑顔や幸せ

めざす子ども像
それぞれの中学校区で設定

小・中学校9年間を列車に例えると、これまでは、小学校と中学校がそれぞれに目的地（めざす子ども像）に向けて進んでいました。小学校号が目的地に到着した後、中学校号に乗り換えをするイメージでした。

小学校号

中学校号

小中一貫号

この小学校号と中学校号との接続をできるだけスムーズに行うために、「小中一貫号」という列車で同じ目的地（めざす子ども像）をめざします。子どもたちが未来を生きぬく力をしっかりと身に付けることができるよう、小中一貫教育を推進します。

小中一貫号の道標

◎ 小中一貫カリキュラム
小・中学校がそれぞれにカリキュラムを作成
↓
各中学校区で9年間の教育内容を系統的に配列して作成

小中一貫号の推進力

◎ 「本物の学力」を育むための小・中をつなぐ授業・指導体制づくり

各中学校区の実態が地域によって異なるため、できる取組を必要に応じて進めていきます。（以下は取組例）

- 小中合同研修会・授業研究会の開催
- 小・中共通の研究テーマ、授業づくりの視点、指導方法等の緩やかな設定、継続
- 基本的な生活習慣や学習習慣等についての一貫した指導
- 児童生徒の交流活動・合同活動の実施
- 同一中学校区内の小学校同士の連携（小・小連携）の推進

◎ コミュニティ・スクールを基盤とした学校、家庭、地域の連携・協働

コミュニティ・スクールを基盤として、各中学校区を一つの大きな枠組みと捉え、特色ある活動を推進していきます。（以下は取組例）

- 熟議や校内研修会とおした積極的な情報の共有
- 教育活動への地域人材・地域資源等の積極的な活用
- 家庭学習とおした連携
- 学校行事の工夫

学校・子どもたちの
伴走者、応援団として

本物の学力

子どもたちが未来を生きぬく力の核となるもの

「知識・技能」
「思考力・判断力・表現力」
+

非認知能力

（数値で測ることが難しい資質・能力）

「学ぶ意欲・挑戦する力・やりぬく力・自己決定力・自己調整力・自己肯定感・自己有用感」
「思いやりの心・コミュニケーション力・協働する力」
「地域や郷土を愛する心」等

様々なつながりを深めることで
本物の学力が育まれる



【実施にあたって】

- 山口市には学校環境や周辺環境、地域性が異なる17の中学校区があり、1小1中の中学校区もあれば、複数の小学校から進学する中学校区もあるため、**既存の小学校・中学校の基本的な枠組みを残したまま**で一貫教育を行います。
- 中学校区の地域性や取組の方向性によっては、幼稚園・保育園との接続部分を含めた連携を推進していくことも考えられます。各中学校区の実態に応じて柔軟に設定しながら取り組んでいくものとします。